

日本史B

第4問 問4

資料から情報を抽出して考察する問題で、各学力層で差がついた

問4 下線部④に関連して、次の表は江戸時代の貿易における輸（移）入品をまとめたものである。この表に関して述べた文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26

表

	松前藩	対馬藩	長崎奉行	薩摩藩
輸入品 (移入品)	昆布・鮭・鯨	生糸・絹織物 ・薬用人参	生糸・絹織物・書籍・綿織物・毛織物・砂糖・蘇木・香木・獣皮	生糸・絹織物・黒砂糖
輸出品 (移出品)	米・酒・漆器・鉄製品	銀・銅	銀・銅・海産物	銀

X 日本には、朝鮮・琉球との貿易を通じて、それぞれの国・地域の産品だけではなく、中国産品が流入していた。

Y 日本からは、中国との貿易では鉱産資源のほかに、水産資源も輸出されていた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

第4問 問4

正解率	54.8%
SS70～75	94.4%
SS65～70	87.3%
SS60～65	79.4%
SS55～60	70.4%
SS50～55	61.1%

2021年度第1回ベネッセ・駿台 大学入学共通テスト模試 「日本史B」	
受験者数:	126,265人
平均点:	50.9点
標準偏差:	18.4

日本史B

第4問 問4

資料から情報を抽出して考察する問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第4問の問4は、江戸時代の貿易における輸(移)出入品をまとめた表から、当時の貿易の特徴について考察する問題で、各学力層で差がつかしました。

Xでは、表からそれぞれの貿易相手国からもたらされた輸入品が何であるかを読み取ったうえで、生糸や絹織物に着目し、中国からもたらされたものであることを考える力が求められました。Yでは、中国との貿易の窓口が長崎であったことを想起し、輸出品のなかに海産物があることを読み取る力が求められました。

日本がどこの港でどこの国と貿易を行っていたのか、という基本的な知識を踏まえたうえで、表から必要な情報を抽出し、読み取った情報と教科書で学習した知識を関連づける力が求められます。前提となる知識を正しく用いることができたかどうかで差がついたと考えられます。

指導のご提案

共通テストでも、さまざまな資料が示され、考察するタイプの出題が予想されます。このような問題では、資料から情報を読み取ることと、読み取ったことを教科書で学習した知識と関連づける力が求められます。

これからの2か月半のご指導では、問題集や入試過去問を用いて、さまざまな資料をもとに考えるタイプの問題に取り組ませ、資料と既習事項を関連づける練習を積ませることをお勧めします。